

道母連だより

第92号

発行日/令和2(2020)年1月1日

発行/社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連協会

〒060-1003 札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内

電話 (011) 261-0447

●題字は山高しげり先生 ●印刷 機アイワード

新年を迎えて



北海道知事
鈴木直道

新年、あけましておめでとございます。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、北海道母子福祉センターや母子家庭等就業・自立支援センターの運営、民間企業と連携しての奨学金の給付、清掃業務や保育事業等におけるひとり親の雇用など、様々な場面でひとり親家庭の福祉の向上や自立の促進に寄与されていることに心から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。昨年を振り返りますと、夏から

秋にかけて台風による風水害が相次ぎ全国各地に甚大な被害をもたらしました。一方で、ラグビーワールドカップでの日本チームの活躍など、明るい話題があった一年でもありました。

さて、道内の有効求人倍率は改善傾向にあるものの、母子家庭の母は非正規雇用の割合が依然として高いことから年収が少ない場合が多く、また、父子家庭の父は困ったことや悩みの相談相手がいないとする割合が高いなど、厳しい就業状況や生活実態に置かれています。

道では、こうした実態を踏まえ、公的資格取得のための就労支援を

始め、母子家庭等就業・自立支援センター等における就業支援や弁護士等による養育費などの相談支援、ひとり親家庭等生活支援事業による子どもへの学習支援、母子父子寡婦福祉資金の貸付け等による経済的支援などを一層推進することとしています。

私も知事就任後、初めての新年を迎えることとなりますが、関係機関の皆様と連携し、仕事と子育ての両立支援や子どもが心身ともに健やかに成長できる社会づくりに向けて全力で取り組んでまいります。

新しい年が、皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭に当たって

理事長 畑 和子

新年あけましておめでとございます。健やかな新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃より、関係機関のみな様には温かいご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、全道で各ブロック研修会が開催され、意義ある一年であったと確信します。今後も、ひとり親家庭が孤立しないよう、若い人の話に耳を傾け、寄り添いサポートしながら、さらに制度の活用を広め、後継者の育成に努めていきたいと考えます。

向学心のある高校生の奨学金給付事業は、ご支援のみな様には深く感謝申し上げます。学びの心を後輩に繋ぐことも喫緊の課題です。

また、高等教育の無償化の要望が多い昨今ですが、高等教育の修学支援新制度が4月から実施されます。ひとり親家庭の支援団体としても周知し、進学を諦めることのないようにしたいものです。

全道のみなさんがご健康で活躍されることを祈念いたします。

第63回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会に参加して

開催日 令和元年9月7～8日
場所 山形県天童市

むかわ町つくしの会

松並恵里子

胆振管内母子寡婦福祉連絡協議会の派遣として、事務局と私の2名で出席させて頂きました。東北・北海道地区より約500名の参加者で開催されました。まず、厚生労働省の度会氏より行政説明があり、ひとり親家庭等日常生活支援事業や就業支援事業のマザーズハローワーク事業・高等職業訓練促進事業、養育費確保に関する取り組み等、わかりやすく、丁寧な説明でした。



語り劇の講師 夢実子氏

次に、各地区の方々がテーマに添い、自身の経験や母子会を通じてつながる地域の輪、子ども食堂での学び等、7名の研修討議が行われました。ひとり

親になってからお子さんの病気が発覚し、御自身も生活保護を受給していた

が、ホームヘルパーやケアマネージャーの資格取得をし、さらに小規模デイサービスを立ち上げた方等皆さん、涙を流されながら発表され、今後の活動や、子育てに希望を与えて頂けた討議となりました。苫小牧市の代表の方も大勢の方々に前に大変素晴らしい発表をされていました。



7名のパネラーのみなさん



苫小牧市 鈴木弥生さん

2日目は、講師「夢実子氏」の語り劇が行われ、中川イセ氏の生涯を語った講演に熱心に聞き入っていました。研修大会を通して、私達が抱える現状を参加者と共に共有し、互いに支え合い母子会の会員として今後の活動に繋がる有意義な大会となりました。

令和元年度全国母子寡婦福祉研修大会に参加して

開催日 令和元年10月26・27日
場所 川崎市カルッツかわさき

登別市母子寡婦の会

鈴木 朋子

川崎市は東海道五十三次の宿場街として栄え、川崎大師は多くの観光客で賑わう観光都市でもある。会場入り口では、揃いのジャケットを着たスタッフの方たちが出迎えて下さり、全国から集まった会員が広い会場を埋め尽くしていた。



道母連からの参加者

開会式が始まり、凛とした司会者の進行で主催者挨拶に続き、川崎市副市長さんの歓迎挨拶では、豪雨による浸水被害を受けながらも、全母子協の要請に添えて大会運営を支えて下さっていることに感銘した。その後の祝辞も被災者への見舞い

と生活弱者への思いやりに溢れていた。続いて行政説明、研修討議となり、テーマごと

に6名の母子父子家庭の代表が発表。町役場への就業相談、奨学金をネットで探し母子会の存在を知り、又は紹介されて皆さんの人生が好転している。「あなたの町に子ども食堂はありますか」と投げかけたお母さんは、お子さんと共に居場所を見つけ家族の再構築ができた事を喜び、感謝の言葉で締めくくった。

2日目の講演「乳がんなんて怖くない！」も女性への応援になる内容で、思いやりと励まし、そして感謝の心で満たされた研修大会となり、充実した2日間でした。



湘南記念病院乳がんセンター長 土井卓子氏



自己診断を実践指導



熱心に意見交換

令和元年10月13日(日)北海道
母子福祉センター研修室に於いて、
第43回道立病院院内保育所保育士
研修会が、江差町、北見市、網走市
の保育所から7名の職員と道母連役
職員が出席して開催されました。

保育士研修会

—子ども達の笑顔を守るために—



3地区の参加者と理事・事務局

網走向ヶ丘保育所



ふたりで仲よくおままごと



ゾウさんに乗って
「やったあ！」



ピンクのプールで
水遊び

午前10時開会、畑和子理事長の
あいさつに続き、研修プログラムに
添って各保育所の近況報告、道母連
との話し合いが活発に行われました。
各保育所は子どもの減少により
存続が心配される事態になりなが
ら、北海道から受託する保育事業は、
子ども達の笑顔があふれています。

北見あゆみ保育所



秋の遠足



子どもは風の子
晴れた日は元気に雪あそび



クリスマス
みんなサンタさんです

江差たんぽぽ保育所



先生手作りのフェルトケーキで
ハッピーバースデー



クリスマスパーティー
シンデレラが5人も！！



卒園式
淋しくなるけど、1年生おめでとう

道東

釧路市母子寡婦会

佐藤 傳

開催日 令和元年9月22日(日)
場所 アクア・パール2F
参加数 40名



講師の釧路動物園 吉野氏

7年ぶりの釧路での開催を、釧路らしく楽しい研修会にしようと役員会で話し合いをしました。釧路に住んでいる人ならみんな丹頂は見たことはありませんが、丹頂について詳しく知っている人は少ないのではないかと思います。釧路動物園の吉野様に丹頂について講演をしていただきました。最初見つけたとき33羽しかいなかった丹頂が現在1800羽まで回復したことや、スライドを使いわかりやすく、鶴の専門家ならではの興味深いお話にみんな惹きつけられました。偽物ながら実物大の卵や、

足の骨の一部を手にとつて見せてもらうことができませんでした。

午後からは歌と踊りの観賞会です。特に佐藤陽子さんの秋田や津軽の民謡手踊は、緋の衣装がかわいらしく、手先爪先までしなやかに、見る人を魅了していました。私達も、踊りを教えて戴き会場を輪になって踊りました。



民謡手踊りの佐藤陽子さんの指導で輪になって踊りました

意見交換会では、若い人たちに加入してもらうにはどうしたらよいか、もっともつと意見を出し合っただけで、時間がなくて残念でした。遠くから参加して下さった皆様有難うございました。

道央

赤平母子寡婦福祉連合会

池田美喜子

開催日 令和元年8月25日(日)
場所 母子福祉センター
参加数 大人28名 子ども2名

午前中の講演は、森の出版社ミチクル代表 来嶋路子氏で、テーマは「地域でつなごう子供の学びの輪」でした。東日本大震災がきっかけで2011年に北海道へ移住、美流渡で生活をスタートさせ、地域との交流をはかり、閉校になった小中学校を子どもの学びの場にと、もう一度美流渡に学校を取り戻すために活動を続けています。東日本大震災で感じた危機感、美流渡から学校がなくなることにピンチ、それらをチャンスに変える努力が大事なことだと教えて下



遠藤恵美子先生のご指導のもと、子ども達と一緒に

さり、発想の転換こそが物事の流れを変えることだと、自らの体験をもとに講演して下さいました。まずは行動に移すことの大切さを学びました。

午後は、「笑って絆を深めよう」を、笑いヨガインストラクターの遠藤恵美子先生の指導のもとに、大きな声を出し、笑い合い、和気あいあいと温かい空気の中、頭と心のリフレッシュになり貴重な体験でした。

最後の意見交換は、今後の母子会について、まずは現況維持、会員増大には、一人ひとりの声掛けが大切という意見が印象的でした。ご協力ありがとうございました。

ック研修会報告

テーマ

守ろう地域の輪



講師の来嶋路子氏

道南

厚沢部母子会

伊勢 今子

開催日 令和元年9月28日(土)
場所 乙部町光林荘
参加数 73名

さわやかな秋晴れのなか、全道4ブロック研修会道南地区が乙部町を会場に実施されました。

遠くは胆振地区、また渡島地区や函館地区からも多数の参加をいただき、子供連れのお母さんの姿も見られました。研修テーマ「つなごう人の輪! 守ろう地域の輪!」のもと、研修1では第一興商函館支店の指導員をお招きし「美容と健康にうたを!」と題して、若々しさを保つための顔のマッサージ・脳トレや歌を指導いただき、会場が一体となって和気あいあいと楽しみました。



音楽の実技



みんなで楽しく脳トレを



8グループに分かれて意見交換会

研修2では、各地区の代表者の方に会の活動や課題等発表していただいた後、8グループに分かれて意見交換会を行いました。会員減少や高齢化等の悩み、その課題解決に向けて活動するためには会員相互の情報収集や共有が大切なこと、他地区の良い事例を参考にしたいといった前向きな声が多くあり、熱心に和やかに語り合うことができ充実した時間となりました。

本研修会にご参加いただいた方々のご協力により、無事終了しましたことに深く感謝申し上げます。

令和元年度 ブロ 全国統一 つなごう人の輪



講師の弁護士 野中英樹氏

道北

士別市母子会

加藤千恵美

開催日 令和元年8月25日(日)
場所 士別市民文化センター
参加数 44名

令和となった今年、第59回上川管内母子寡婦福祉研修会兼道北ブロック研修会を士別市にて開催致しました。午前中は「知っておきたい身近な法律知識」と題して野中弁護士さんにご講演頂きました。内容は相続に関する基本的な事、成年後見人制度について等普段は中々聞けない事をお話して頂きました。私達は全て法律に関わりながら生活しております。講演後の質疑応答では相続トラブルについての質問が多くありました。仲の良い兄弟・嫁であつても親が亡く

なると相続の事で不満爆発し、トラブルが起こる事がある為、生前に防止策を講じておく事が重要と説明され良い勉強になりました。

午後の部は、「楽しく簡単(^_^)笑顔で椅子ヨガ」と題して、椅子に座りながらヨガを体験しました。膝や腰に不安のある方にも安心して出来、シンプルな動きでも充分身体を伸ばす事を実感しました。普段は浅い呼吸をしている事に気づき何も考えずに細く長くゆっくりと鼻呼吸を繰り返すだけで穏やかな気持ちになりました。

最後になりますが、本研修会開催にあたり、講師の先生、遠方から参加して頂いた会員の皆様感謝申し上げます。



笑顔で椅子ヨガを体験

北見市委託事業

「どよう塾」続けています

北見市母子会事務局 西田 幸恵

北見母子会では、平成25年度より子どもの学習支援として「どよう塾」を行っております。毎月第一・第四土曜日に開催し小学四年生から中学三年生までが対象です。北見工業大学の学生ボランティアの協力で行っております。

平成28年度からは北見市の委託事業となりました。今年度の登録人数は12人と少なく、部活動等で全員が揃うことがないですが、子どもたちは、わからないことを教師に聞けない内気な子が多く、わからないままになってしまい勉強が苦手になると言う悪循環でしたが、先生の年が近く個別に指導してもらえ勉強の方法が身につく成績が上

がったと喜んでくれております。大人の目線ではなく年が近いお兄さんの存在の力のお陰だと感じています。

これからも、子どもの気持ちに寄り添える塾を心がけていこうと思っております。



わからなくなると個別に指導 教室は夜間託児所に机を並べて

休憩時間は笑い声がもれる程盛り上がり、勉強と遊びのメリハリをつけてくれています

令和元年度共同募金助成金は4ブロック研修会、広報誌発行に充当させていただきます。

ご報告し、お礼申し上げます。



奨学金御礼状



旭川市 高田紗良さん

この度は奨学金を頂きありがとうございます。これからますます難しくなる勉強のため、そして来年ある修学旅行のために、大切に使用させていただきます。そしていつか人に役立つ立派な大人を目指して精進してまいります。この度は本当にありがとうございます。

佐藤 伶

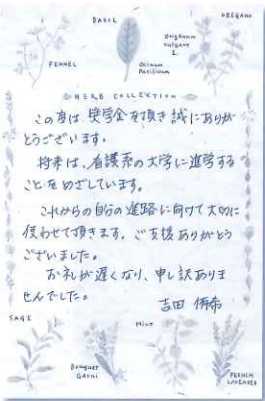
伊達市 佐藤伶さん

感謝

この度は奨学金を頂き、ありがとうございます。ありがとうございました。頂いた奨学金は、入部したバスケットボールの大会遠征費用に当てさせていただきます。本当にありがとうございます。

木下 遼太

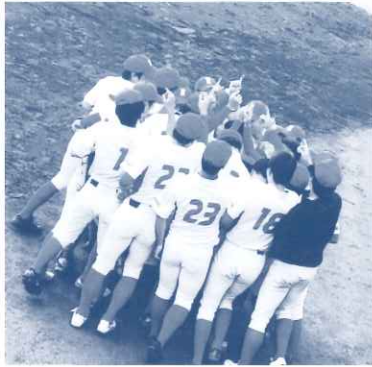
苫小牧市 木下遼太さん



室蘭市 吉田侑希さん

この度は奨学金をいただき、ありがとうございます。いただいた奨学金は、部活動の遠征費や修学旅行費として大切に使用させていただきます。ご支援、本当にありがとうございました。

乙部町 敦賀想さん



小5から続けてきた野球の指導者を目指す

私を母は快く応援してくれました。奨学金があったからこそ、専門学校の受験料などを支払うことが出来ました。

大好きな野球を仕事に 小樽市 阿彦 隼斗



私の祖母が小樽母子会の会員だったこともあり、幼い頃から母と弟と一緒に行事に参加し、動物園や遊園地などに行っていたことを今でも覚えています。

現在は、北海道スポーツ専門学校でパーソナルトレーナーを専攻しています。来春卒業後は、子どもの野球スクール指導員の仕

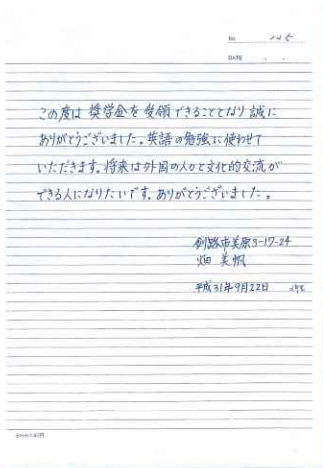


祖母や母や弟と参加したなつかしい母子会の旅行

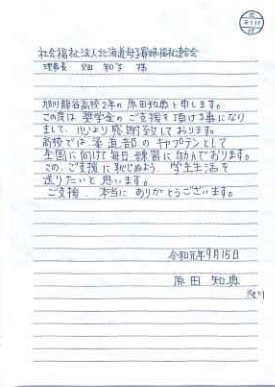
事に内定しています。小学校5年生から少年野球チームに所属し、現在まで続けてきた野球に年間通じて携わっていきたいと思い、雪の降らない大阪で就職します。

春からは母や祖母と離れ、ひとり暮らしになりますが、仕事で出会う子どもたちの中に、私と同じひとり親の子がいたら、自分の好きな道を歩んでいけるよう背中を押してあげられる指導者になりたいと思います。

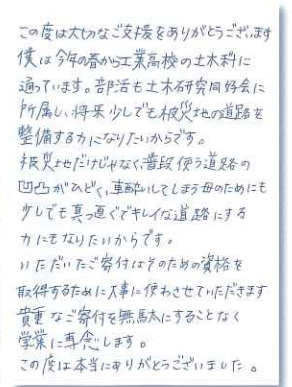
今、私が自分の好きなことを仕事に出来るチャンスを与えて下さった奨学金をご支援いただいた皆様への感謝を忘れずに、恩返しができるよう社会人として励んでいきます。



釧路市 畑美帆さん

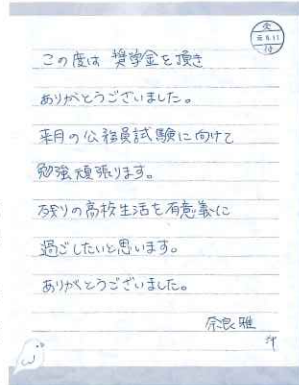


旭川市 原田知典さん

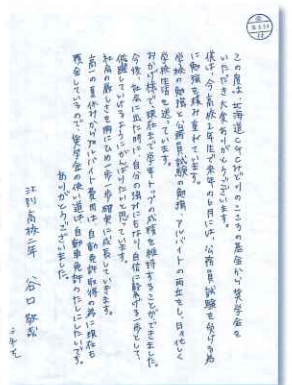


当別町 砂沢海飛さん

令和元年度も
道新振興基金さん、北洋銀行さん、
みどりところの基金さん
から助成をいただき、
337名に奨学金が給付されました。



北見市 奈良雅さん



江別市 谷口敬哉さん

見学報告 新千歳空港 カフェテラス Boren

令和元年11月5日(火)
広報部 安達 史子

カフェテラス Boren



迅速・丁寧に、温かいおもてなし心がけています



カフェテラス Boren 全景



ソフトクリームキャラクター
ニククン&セイちゃん



空いたテーブル・椅子の整理中にはお客様との会話も



子どもたちが座り込んでソフト選び
おじいちゃんが優しく見守り



本日からキャラメルソフトがスタート
お客様の要望でワインソフトも復活
常にポップを工夫、3人寄れば文殊の知恵!

道母連母子福祉振興基金にご芳志ありがとうございます

振興基金累計額(令和元.11.30現在)

一一一、五六七、四三七円



連休を利用してママの故郷札幌で過ごし、川崎市の自宅に帰ります。「子どもの食べ易いものがあるってよかったです。」と、おにぎり、揚げもちなど大量にお買い上げ



北海道神宮で七五三のお参りのために帰省おじいちゃん、おばあちゃんに見送られて埼玉の自宅に帰ります「いつも利用していますよ。」と、うれしいお言葉

編集後記

数年前の出来事ですが、突然のスコールで自宅の窓が開け放しなのに気が付き、急いで戻ってみると母の姿がありません。これはどこかで雨に濡れていると思い、足の良くない母の事、慌てて転んだり体調を崩されてもと、悪い方へと考えてしまい心配が絶頂に達し、全身が痛くなってしまっただけでした。どうか室内で雨宿りをしていたほしいと祈りつつ、傘も役に立たない程の雨の中、やっとずぶ濡れの中捜しあてた時は安堵感を覚えました。

そんな私に母は、「アイス食べるかい。」と嬉しそう。暑い日が続くので、私にアイスを買って来ての夕立だったとか。

半泣きで捜しまわる家族のことよりも、アイスが溶けた心配が先だったようでした。

どんなアイスでどんな味だったかも忘れてしまいました。愛情のいっぱい詰まった、半分溶けたアイスを食べながら我が家に着いた安心は懐かしい思い出です。

(青木枝美子)